

INDICE

[音声 DL 付改訂版] 本気で学ぶ中・上級イタリア語

まえがき 3 / 本書の特徴と使い方 5 / 音声ダウンロードについて 18

CAPITOLO 1 | 文の基本的要素

1. 名詞の性と数	19
2. 不定冠詞	20
3. 指示代名詞 questo, quello	21
4. 形容詞の性と数	22
5. 主語としての人称代名詞と動詞 essere の直説法現在	24
6. 定冠詞	26
7. 指示形容詞 questo, quello	27
(1) questo……27	(2) quello……28
8. 特殊な変化をする形容詞 bello, buono	29
(1) bello……29	(2) buono……29
9. 所有形容詞	30
(1) 所有形容詞の前には通常、定冠詞や不定冠詞がつく……30	
(2) 親族を表す名詞の前に所有形容詞が置かれた場合、定冠詞との間に 次のような規則がある……31	
(3) 所有形容詞 proprio……32	
10. 所有代名詞	32
11. 数形容詞	33
(1) 基数形容詞……33	(2) 序数形容詞……36
12. 名詞と形容詞の特殊な複数形	37
(1) 複数になっても変化しない単語……37	
(2) 男性単数 -co, -go, -io 女性単数 -ca, -ga, -cia, -gia で終わる単語……38	
(3) 複数形が不規則変化する単語……40	
13. 前置詞と定冠詞の結合形(冠詞前置詞)	41

14. 部分冠詞	42
(1) 「いくらかの」という「量」を表現する場合……42	
(2) 「いくつかの」「何人かの」という「数」を表現する場合……43	
15. c'è と ci sono	44
16. essere 以外の動詞の直説法現在	44
(1) 動詞 avere……45	
(2) 規則変化をする動詞……45	★1 直接目的語・間接目的語
(3) 不規則変化をする動詞……48	★2 曜日・月・季節
(4) 補助動詞……52	★3 neanche (～すらなく)の用法 ★4 不定代名詞その1
17. 副詞	56
(1) 「様態」を表す副詞……56	(2) 「時」を表す副詞……56
(3) 「頻度」を表す副詞……57	(4) 「場所」を表す副詞……57
(5) 「数量」を表す副詞……57	(6) 副詞句……58
(7) 形容詞から作られる副詞……58	(8) 形容詞がそのまま副詞として用いられる例……59
18. 疑問詞	60
(1) 疑問代名詞……60	
(2) 疑問形容詞……62	★5 時刻 ★6 縮小辞と拡大辞
(3) 疑問副詞……66	
19. 感嘆文を作る言葉	67
(1) 形容詞として……67	★7 蔑称辞
(2) 副詞として……68	

CAPITOLO 2 | 目的語としての人称代名詞

1. 直接目的語人称代名詞	70
★8 不定代名詞その2	
2. 間接目的語人称代名詞	73
★9 身体に関する名詞の性と数	
3. 人称代名詞の強勢形	75
(1) 直接目的語人称代名詞の強勢形……76	
(2) 間接目的語人称代名詞の強勢形……76	
(3) 前置詞とともに……77	
(4) 主語人称代名詞の代用……78	★10 トロンカメント ★11 不定形容詞

4. 動詞 <i>piacere</i> と <i>interessare</i> _____	81
★ 12 副詞の <i>molto</i> と形容詞の <i>molto</i>	
5. 直接目的語、間接目的語を間違えやすいケース _____	84
(1) 直接目的語をとる動詞ではあるが、「～を」という日本語にはならないもの……84	
(2) 間接目的語をとる動詞ではあるが、「～に」という日本語にはならないもの……86	
6. 間接目的語人称代名詞と直接目的語人称代名詞の結合形 _____	87
7. 命令形とともに目的語人称代名詞等を用いる場合 _____	88

CAPITOLO 3 | 直説法近過去

1. 直説法近過去の内容 _____	89
2. 自動詞と他動詞 _____	90
3. 直説法近過去の作り方と活用形 _____	90
(1) 過去分詞の作り方……90	
(2) <i>avere</i> + 過去分詞の場合……92	★ 13 連結接続詞 <i>né... né...</i> の用法
(3) <i>essere</i> + 過去分詞の場合……94	★ 14 日付の表し方
(4) 副詞の位置……98	
(5) 注意事項……98	
4. 補助動詞の直説法近過去 _____	101
(1) 補助動詞の直説法近過去の作り方……101	
(2) 目的語人称代名詞・代名小詞の位置……102	
5. 直接目的語人称代名詞と過去分詞の一致 _____	103
(1) 直接目的語人称代名詞 <i>lo, la, li, le</i> と過去分詞の一致……103	
(2) 代名小詞 <i>ne</i> を直接目的語として用いる場合……104	
(3) 直接目的語人称代名詞と間接目的語人称代名詞が結合した場合……105	
(4) 直接目的語人称代名詞が1人称・2人称 <i>mi, ti, ci, vi</i> の場合……105	
(5) 形式的再帰動詞の近過去の場合……106	
6. 時間の長さを表す前置詞 <i>da</i> と <i>per</i> について _____	106
(1) <i>da</i> (～前から、～以来、～の間) ……107	(2) <i>per</i> (～の間) ……108
7. <i>fa</i> について _____	109

CAPITOLO 4 | 直説法半過去

- 1. 直説法半過去の概念 ————— 110
- 2. 直説法半過去の活用形 ————— 110
- 3. 直説法半過去の用法 ————— 112

CAPITOLO 5 | 直説法大過去 ————— 122

CAPITOLO 6 | 直説法遠過去

- 1. 直説法遠過去の概念 ————— 125
- 2. 直説法遠過去の活用形 ————— 125
 - (1) 規則変化および *avere, essere* の活用形……125
 - (2) 不規則変化……126
 - (3) 全人称とも不規則に変化するもの……127
- 3. 直説法遠過去の用法 ————— 128

CAPITOLO 7 | 直説法先立過去 ————— 130

CAPITOLO 8 | 直説法未来・直説法先立未来

- 1. 直説法未来の活用形 ————— 131
- 2. 直説法未来の用法 ————— 133
 - (1) これから起こること……133
 - (2) 現在の推量、憶測……134
- 3. 直説法先立未来 ————— 134
 - (1) 作り方……134
 - (2) 直説法先立未来の用法……135

CAPITOLO 9 | 命令法

- 1. 命令法の活用形 ————— 137
- 2. 命令法での目的語人称代名詞の位置 ————— 140
- 3. 否定命令 ————— 142

CAPITOLO 10 | 再帰動詞

- 1. 再帰動詞とは ————— 144
- 2. 再帰動詞の種類 ————— 145
 - (1) 本質的再帰動詞……145
 - (2) 形式的再帰動詞……146
 - (3) 相互的再帰動詞……146
 - (4) 代名動詞……147
- 3. 再帰動詞の直説法現在 ————— 148
 - ★ 15 命名動詞
- 4. 再帰動詞の直説法近過去 ————— 152
- 5. 補助動詞をともなう再帰動詞の直説法現在 ————— 155
- 6. 補助動詞をともなう再帰動詞の直説法近過去 ————— 156
- 7. 再帰動詞の命令形 ————— 156
- 8. 再帰動詞の否定命令形 ————— 158
- 9. 再帰動詞の非人称表現 ————— 158

CAPITOLO 11 | 代名小詞 ci, ne と中性代名詞 lo

- 1. 代名小詞 ci ————— 159
- 2. 代名小詞 ne ————— 164
 - ★ 16 否定疑問に答えるときの Sì と No の使い方
- 3. 中性代名詞 lo ————— 172

CAPITOLO 12 | 比較級と最上級

1. 優等・劣等比較級	174
2. 同等比較級	178
(1) [così] ~ come... もしくは [tanto] ~ quanto... ..	178
(2) 数量の同等比較.....	181
(3) [quanto] più (meno) ~ [tanto] più (meno) ~	182
3. 形容詞と副詞の最上級	182
(1) 相対最上級.....	182
(2) 絶対最上級.....	184
4. 特殊な比較級・最上級	185
(1) 形容詞.....	185
(2) 副詞.....	186

CAPITOLO 13 | 関係代名詞

1. che	187
2. cui	189
3. quale	191
4. chi	194
5. quanto	195

CAPITOLO 14 | 関係副詞と関係形容詞

1. 関係副詞	197
2. 関係形容詞	198

CAPITOLO 15 | 条件法現在

1. 条件法現在とその活用形	199
----------------	-----

2. 条件法現在の用法	202
-------------	-----

★ 17 形容詞の副詞的用法

CAPITOLO 16 | 条件法過去

1. 条件法過去の作り方と活用形	206
2. 条件法過去の用法	207

CAPITOLO 17 | 接続法現在・接続法過去

1. 接続法の世界	212
2. 接続法現在の活用形	212
3. 接続法過去の作り方と活用形	214
4. 接続法現在・過去の用法	215
5. 具体的な用法	216
(1) 名詞節での用法……	216
(2) 副詞節での用法……	224
(3) 関係節での用法……	229
(4) 独立節で用いられる例……	230

★ 18 連結動詞 ★ 19 非人称動詞 *sembrare* の用法 ★ 20 二重否定と部分否定

CAPITOLO 18 | 接続法半過去・接続法大過去

1. 接続法半過去の活用形	234
2. 接続法大過去の作り方と活用形	235
3. 接続法半過去・大過去の用法	236

CAPITOLO 19 | 時制の一致

1. 時制の一致の基本 ————— 243
 - (1) 主節の動詞が従属節の動詞に接続法を要求しない場合の時制……243
 - (2) 主節の動詞が従属節の動詞に接続法を要求する場合の時制……244
2. 時制の一致の基本から外れるケース ————— 247
3. 節の中にもうひとつ別の節が入った文における法と時制 ————— 248

CAPITOLO 20 | 仮定文

1. 現在・未来の現実的な仮定に基づいて、予測される結果を表現する場合 — 251
2. 現在・未来の実現不確かな仮定に基づいて、予測される結果を表現する場合 — 253
3. 現在の事実と反することを「ある」と仮定して、その結果を推量する場合 — 254
4. 過去の事実と反することを「あった」と仮定して、その結果を推量する場合 — 256
5. 直説法半過去を用いた仮定文 ————— 257
6. ジェルンディオを用いた仮定文 ————— 257
7. 条件節だけを用いた感嘆文、条件節のない仮定表現 ————— 258
8. come se について ————— 258
9. 仮定文と話法 ————— 259

CAPITOLO 21 | 受動態と受身の si、非人称の si

1. 動詞の形態 ————— 260
2. 受動態の種類 ————— 260
 - (1) essere の活用形+他動詞の過去分詞(語尾は主語の性・数に一致)+[da+動作主] ……260
 - (2) venire の活用形+他動詞の過去分詞(語尾は主語の性・数に一致)+[da+動作主] ……262
 - (3) andare の活用形+他動詞の過去分詞(語尾は主語の性・数に一致) ……264
 - (4) 能動態を用いた受動表現……265
 - (5) si を用いた受動態(受身の si) ……266

3. 非人称の si (狭義)	268
4. 非人称的な代名詞としての uno と tu	272
(1) uno	272
(2) tu	273

CAPITOLO 22 | ジェルンディオ

1. ジェルンディオの作り方	274
(1) ジェルンディオ現在形	274
(2) ジェルンディオ過去形	275
2. ジェルンディオの用法	275
(1) 進行形	275
(2) ジェルンディオ構文	277

CAPITOLO 23 | 過去分詞

(1) 過去分詞の作り方	284	(2) 複合時制の中で用いられる過去分詞	284
(3) 受動態で用いられる過去分詞	284	(4) 過去分詞構文	284
(5) 形容詞としての過去分詞	288	(6) 名詞としての過去分詞	288

CAPITOLO 24 | 現在分詞

(1) 現在分詞の作り方	289	(2) 形容詞としての現在分詞	289
(3) 名詞としての現在分詞	290		

CAPITOLO 25 | 不定詞

1. 不定詞の現在形と過去形	291
2. 不定詞の用法	292
★ 21 強調構文	
3. 不定詞と目的語人称代名詞等の位置	296
4. 使役動詞と結びつく不定詞の用法	300
(1) fare + 不定詞	300
(2) lasciare + 不定詞	304

5. 感覚動詞と結びつく不定詞の用法	305
(1) 感覚動詞+人・もの(感覚動詞の直接目的語であり同時に不定詞の動作主) +不定詞(自動詞) ……305	
(2) 感覚動詞 + 人・もの(感覚動詞の直接目的語であり同時に不定詞の動作主) +不定詞(他動詞)+不定詞の直接目的語(+不定詞の間接目的語) ……305	
★22 動物の鳴き声	
6. ジェルンディオ、不定詞、過去分詞を用いた構文の対比(不定法のまとめ)	307
(1) 他動詞の場合 ……307	
(2) 自動詞の場合 ……309	

CAPITOLO 26 | 直接話法と間接話法

1. 品詞の変換	310
(1) 代名詞 ……310	
(2) 副詞 ……313	
(3) 動詞 ……313	★23 venire と andare
2. 時制と法の変換	316
(1) 主節の動詞が直説法現在(あるいは未来)、現在に近接する過去の場合 ……316	
(2) 主節の動詞が過去(直説法近過去・半過去・大過去・遠過去)の場合 ……318	

CAPITOLO 27 | 前置詞

1. a	329
★24 所有形容詞と定冠詞の省略	
2. da	331
3. di	333
4. in	334
5. 場所(行き先、居場所)を表す in, a, da の守備範囲	336
6. su	338
7. con	338
8. per	339
★25 非人称構文	

9. fra / tra ————— 341

10. その他の前置詞 ————— 342

- 1) attraverso 2) contro 3) dentro 4) dietro 5) durante
6) entro 7) fuori 8) oltre 9) presso 10) secondo 11) senza
12) sopra 13) sotto 14) tramite 15) tranne 16) verso